

令和 4 (2022) 年度 国語 科 シラバス

科目	現代の国語	単位数	2	履修規定	1年
教科書	高等学校 現代の国語	副教材		国語便覧／漢字練習テキスト／問題集	担当者 2～3名 未定

1. 学習の達成目標

言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

○1年目は、本文の音読及び要約を習慣づけるとともに、言葉の習得に意識的に取り組もう。
 ○いろいろなジャンルの文章に目を通そう。
 ○学校生活の中で、他者との関わりの中で用いる言葉の質を向上させよう。
 ○自身の語彙力の向上とともに、プレゼンテーション力を磨いていこう。

3. 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
主な評価方法	・ 考査 ・ 記述の観察	・ 考査 ・ 行動の観察 ・ 記述の観察	・ 考査 ・ 行動の観察 ・ 記述の観察

4. 学習および評価計画

※評価の観点：(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

月	学習項目	学習内容	評価基準	考査範囲	時数	
前期	4	・「生きもの」として生きる ・「本当の自分」幻想	・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。・筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。	a・ 語句の量を増やし、語彙を豊かに出来たか。b・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握出来たか。c・筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書けたか。	・「生きもの」として生きる・「本当の自分」幻想・「羅生門」・問題集(自習課題)	10
	5	・ 羅生門	・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、比喩などの修辞を理解する。・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。			
	6	・ 水の東西 ・ものごと	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。・常用漢字を文や文章の中で活用する。語彙を豊かにする。	b・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握出来たか。a・常用漢字を文や文章の中で活用出来たか。a・語彙を豊かに出来たか。b・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学べたか。	・水の東西 ・ものごとば「文化」としての科学・現代の「世論操作」・問題集(自習課題)	10
	7	・「文化」としての科学 ・現代の「世論操作」	・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。			
	8	・ 無彩の色	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	b・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。b・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。a・比喩や言い換えなどの修辞を理解しつつ主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。	・無彩の色・鏡・砂に埋もれたル・コルビュジェ・問題集(自習課題)	14
	9	・ 鏡 ・砂に埋もれたル・コルビュジェ	・比喩や言い換えなどの修辞を理解しつつ主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。			
後期	10	・ 不均衡な時間	・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめる。	b・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。b・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめる。b・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。c・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する私見を書いて伝える。	・不均衡な時間・フェアな競争・問題集(自習課題)	14
	11	・ フェアな競争	・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する私見を書いて伝える。			
	12	・ 夢十夜	・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉える。	c・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉える。b・自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。b・主張と論拠、個別と一般など、情報と情報との関係を理解する。c・作品に表れて死生観を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合う。	・夢十夜・ロビンソンの人間と自然・城の崎にて・問題集(自習課題)	22
	1	・ ロビンソンの人間と自然	・自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。			
	2	・ 城の崎にて	・主張と論拠、個別と一般など、情報と情報との関係を理解する。・作品に表れて死生観を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合う。			
3	特編授業					

令和 4 (2022) 年度 国語 科 シラバス

科目	言語文化	単位数	3	履修規定	1年	
教科書	高等学校 言語文化	副教材		古典文法書/古文単語集/漢文テキスト/問題集	担当者	未定

1. 学習の達成目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり出来るようにする。(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

- 教材に関わらず、何度も音読することで、作品の持つリズムを味わおう。
- 辞書や文法書で調べることを億劫がらず習慣化しよう。
- 授業時間に集中して、限られた時間を上手く活用しながら学習を積み重ねよう。
- プリント類や問題集、模擬試験などを通しての学びを有機的にうまく結びつけよう。

3. 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
主な評価方法	・ 考査 ・ 記述の観察	・ 考査 ・ 行動の観察 ・ 記述の観察	・ 考査 ・ 行動の観察 ・ 記述の観察

4. 学習および評価計画

※評価の観点：(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

月	学習項目	学習内容	評価基準	考査範囲	時数	
前期	4	・古文の学習について・「児のそら寝」・「絵仏師良秀」・文法：用言の活用(動詞・形容詞・形容動詞)	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや、古文における人物造形の面白さを読み取る。・用言の活用の基本を理解する。	b・説話という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉えられたか。b・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈出来たか。a・語句の量を増やし、語彙が豊かに出来たか。また、用言について文語の決まりが理解できたか。c・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したり出来たか。	・古文の基礎「児のそら寝」・「絵仏師良秀」・「なよ竹のかぐや姫」・文法(用言の活用)・問題集(自習課題)	15
	5	・「なよ竹のかぐや姫」・文法：用言の活用(動詞・形容詞・形容動詞)	・古典特有の世界観に慣れるとともに、物語の内容や展開を的確に捉える。・用言の活用の基本を理解する。			
	6	・伊勢物語「芥川」「東下り」「筒井筒」・文法(助動詞)	・感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。・助動詞に関して理解を深める。	b・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方が理解できたか。A 語句の量を増やし、語彙を豊かに出来たか。C 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えられたか。A 漢文訓読の基礎知識が理解・習得出来たか。B 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解できたか。C 故事成語の由来となった話を積極的に読み、分かった内容を工夫してまとめられたか。	・伊勢物語「芥川」「東下り」「筒井筒」・文法(助動詞)・漢文入門「訓読1・2・3」「漁夫之利」「狐借虎威」・問題集(自習課題)	15
	7	・漢文入門「訓読1・2・3」・「漁夫之利」「狐借虎威」	・漢文訓読のための基礎知識として、返り点・助字・再読文字について習得し、訓読の決まりを理解する。・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。			
	8	・枕草子「春は、あけぼの」「九月ばかり」・文法(助動詞及び敬語)	・主として助動詞について、文語の決まりを理解する。また、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	b・自由な文体の随筆という文章の特徴を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や感じ方及び内容を解釈し理解できたか。A・主として助動詞及び敬語について文語の決まりを理解できたか。C・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしたか。	・枕草子「春は、あけぼの」「九月ばかり」「中納言参りたまひて」・文法(助動詞及び敬語)・問題集(自習課題)	21
	9	・枕草子「中納言参りたまひて」・文法(助動詞及び敬語)	・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。			
後期	10	・徒然草「ある人、弓射る」「丹波に出雲」「花は盛りに」・文法(助動詞及び敬語)	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。・助動詞や敬語について、文語の決まりを理解する。	b・思索的な随筆を読んで内容や展開を的確に捉えられたか。a・敬語についてまた音便に関して、文語の決まりを理解できたか。c 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことが出来たか。b 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈出来たか。	・徒然草「ある人、弓射る」「丹波に出雲」「花は盛りに」・平家物語「祇園精舎」「木曾の最期」・文法(音便、敬語)・問題集(自習課題)	21
	11	・平家物語「祇園精舎」「木曾の最期」・文法(音便、敬語)	・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。・音便や敬語について、文語の決まりを理解する。			
	12	・和歌(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)・文法(和歌の修辞)	・和歌の特徴を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。・和歌の修辞について理解する。	a・和歌の表現技法とその効果について理解できたか。B・和歌の情景や心情など、内容や展開を的確に捉えられたか。C 対象の捉え方の時代による変化を理解して和歌を鑑賞しているか。B・詩の象徴的な表現を読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解出来たか。C 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしたか。A 短歌・俳句に特徴的な表現技法と効果について理解出来たか。B・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈出来たか。C・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方・感じ方を豊かにしようとしたか。a・訓読の決まりを理解出来たか。b・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えることができたか。c・積極的に史伝の特徴を理解し、そこに表れたものの見方・感じ方、考え方を捉えようとしたか。	・和歌(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)・文法(和歌の修辞)・近現代の詩歌「萱のうへ」「一つのメルヘン」「その子二十」「こころの帆」・漢文「完璧」「先従隗始」「臥薪嘗胆」・問題集(自習課題)	33
	1	・近現代の詩歌「萱のうへ」「一つのメルヘン」「その子二十」「こころの帆」	・詩の表現方法を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。・短歌・俳句の形式や表現方法を理解し、内容を解釈する。			
	2	・漢文「完璧」「先従隗始」「臥薪嘗胆」	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			
3	・漢文「唐詩の世界」	(特編授業時に実施)				

令和 4 (2022) 年度 国語 科 シラバス

科目	言語文化	単位数	2	履修規定	1年
教科書	高等学校 言語文化	副教材		古典文法書/古文単語集/漢文テキスト/問題集	担当者 未定

1. 学習の達成目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり出来るようにする。(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

- 教材に関わらず、何度も音読することで、作品の持つリズムを味わおう。
- 辞書や文法書で調べることを億劫がらず習慣化しよう。
- 授業時間に集中して、限られた時間を上手く活用しながら学習を積み重ねよう。
- プリント類や問題集、模擬試験などを通しての学びを有機的にうまく結びつけよう。

3. 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもたしている。
主な評価方法	・考査 ・記述の観察	・考査 ・行動の観察 ・記述の観察	・考査 ・行動の観察 ・記述の観察

4. 学習および評価計画

※評価の観点:(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

月	学習項目	学習内容	評価基準	考査範囲	時数	
前期	4	・古文の学習について・「児のそら寝」・「絵仏師良秀」 ・文法:用言の活用(動詞・形容詞・形容動詞)	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや、古文における人物造形の面白さを読み取る。・用言の活用の基本を理解する。	b・説話という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉えられたか。B・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈出来たか。a・語句の量を増やし、語彙が豊かに出来たか。また、用言について文語の決まりが理解できたか。C・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したり出来たか。	・古文の基礎・「児のそら寝」・「絵仏師良秀」 ・文法(用言の活用)・問題集(自習課題)	10
	5	・「絵仏師良秀」 ・文法:用言の活用(動詞・形容詞・形容動詞)	・古典特有の世界観に慣れるとともに、物語の内容や展開を的確に捉える。・用言の活用の基本を理解する。			
	6	・伊勢物語「芥川」 ・東下り ・文法(助動詞)	・感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。・助動詞に関して理解を深める。	b・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方が理解できたか。A語句の量を増やし、語彙を豊かに出来たか。C歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えられたか。A漢文訓読の基礎知識が理解・習得出来たか。B作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解できたか。C故事成語の由来となった話を積極的に読み、分かった内容を工夫してまとめられたか。	・伊勢物語「芥川」 ・東下り ・文法(助動詞)・漢文入門(「訓読」1・2・3)・「漁夫之利」 ・問題集(自習課題)	10
	7	・漢文入門「訓読1・2・3」 ・「漁夫之利」	・漢文訓読のための基礎知識として、返り点・助字・再読文字について習得し、訓読の決まりを理解する。・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。			
	8	・枕草子「春は、あけぼの」 ・文法(助動詞及び敬語)	・主として助動詞について、文語の決まりを理解する。また、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	b・自由な文体の随筆という文章の特徴を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や感じ方及び内容を解釈し理解できたか。A主として助動詞及び敬語について文語の決まりを理解できたか。C作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしたか。	・枕草子「春は、あけぼの」 ・「中納言参りたまひて」 ・文法(助動詞及び敬語)・問題集(自習課題)	14
	9	・枕草子「中納言参りたまひて」 ・文法(助動詞及び敬語)	・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。			
後期	10	・徒然草「ある人、弓射る」 ・「丹波に出雲」 ・文法(助動詞及び敬語)	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。・助動詞や敬語について、文語の決まりを理解する。	b・思索的な随筆を読んで内容や展開を的確に捉えられたか。a・敬語についてまた音便に関して、文語の決まりを理解できたか。C本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことが出来たか。B作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈出来たか。	・徒然草「ある人、弓射る」 ・「丹波に出雲」 ・平家物語「祇園精舎」 ・木曾の最期 ・文法(音便、敬語)・問題集(自習課題)	14
	11	・平家物語「祇園精舎」 ・木曾の最期 ・文法(音便、敬語)	・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。・音便や敬語について、文語の決まりを理解する。			
	12	・和歌(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)・文法(和歌の修辞)	・和歌の特徴を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。・和歌の修辞について理解する。	a・和歌の表現技法とその効果について理解できたか。B・和歌の情景や心情など、内容や展開を的確に捉えられたか。C対象の捉え方の時代による変化を理解して和歌を鑑賞しているか。B・詩の象徴的な表現を読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解出来たか。C繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしたか。A短歌・俳句に特徴的な表現技法と効果について理解出来たか。B・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈出来たか。C・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方・感じ方を豊かにしようとしたか。a・訓読の決まりを理解出来たか。b・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えることができたか。c・積極的に史伝の特徴を理解し、そこに表れたものの見方・感じ方、考え方を捉えようとしたか。	・和歌(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)・文法(和歌の修辞)・近現代の詩歌「蕓のうへ」「一つのメルヘン」「その子二十」「こころの帆」 ・漢文「完璧」 ・先従隗始 ・問題集(自習課題)	22
	1	・近現代の詩歌「蕓のうへ」 ・「一つのメルヘン」 ・「その子二十」 ・「こころの帆」	・詩の表現方法を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。・短歌・俳句の形式や表現方法を理解し、内容を解釈する。			
	2	・漢文「完璧」 ・先従隗始	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			
3	・漢文「唐詩の世界」	(特編授業時に実施)				